



柴田氏庭園で市職員から説明を受ける参加者

「柴田氏庭園」と「天満神社」で栗野の魅力再発見!



天満神社で菅井宮司の説明を聞く参加者



藤原利仁の供養塔「将軍塚」を見学する参加者

栗野再発見ツアーに16人参加

栗野コミュニティ運営協議会は8月24日、柴田氏庭園（市野々町）と天満神社（公文名）を見学して栗野の魅力を再発見してもらうバスツアーを実施しました。

参加した16人は、国の名勝に指定されている柴田氏庭園で、市の学芸員から市野々新田の開発にあたった豪農の柴田権右衛門の功績や、野坂山を借景にした庭園の見所などの説明を受けた後、現在、修復中の書院や居宅の中を見学しました。

今昔物語「芋粥」の主人公である藤原利仁を祭る天満神社では、関白に仕えている利仁が、京の役人を故郷の栗野に連れて帰って「芋粥」を腹いっぱいごちそうしたという話を菅井宮司から聞いた後、利仁の供養塔とされる「将軍塚」を見学しました。

参加者からは、「柴田氏庭園の修復工事完成が楽しみ、多くの観光客に来てもらいたい」、「栗野が舞台になっている芋粥の歴史が勉強できて良かった」などの声が聞かれました。